

平成31年度 東京都立新宿高等学校
推薦に基づく選抜
小論文

注 意

- 1 問題は①と②で、3ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は50分で、終わりは午前9時40分です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 受験番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 5 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出しなさい。**
- 6 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 7 論述は、指定された解答欄に指示に従って書くこと。
- 8 マス目がある場合は、**最初のマスから書き始め段落分けはしないこと。**
マス目がある場合は、**や。 や。 や** などそれぞれ1字と数えなさい。
最後のマスも同様とすること。
- 9 マス目がある場合に、数字や記号を書く時は、下記の(例)のように記入しなさい。
数字は2つで1マス。3桁なら2マス使うこと。

(例)

1	8	6	0	km
---	---	---	---	----

3	5	.	7	%
---	---	---	---	---

@	@
---	---

問題は1ページからです。

1 次の文章を読み、資料1と資料2を見て、以下の問いに答えよ。

日本の食料自給率は1965（昭和40）年の73%から年々低下し、2015（平成27）年の時点で39%となり、先進国の中でも最も低い数値となっている。食料自給率とは国内の食料消費が国内生産によってどのくらい賅^{まか}えているかを示す指標である。食料自給率には国内生産を金額で表した生産額ベース食料自給率と、食料のエネルギーが生命と健康の維持に不可欠なものであるとの観点から、栄養学的熱量（カロリー）に着目して計算した供給熱量ベース食料自給率がある。

日本の供給熱量ベース食料自給率は、近年、横ばいで推移しているが長期的に見ると生産・消費両面の要因から低下している。

生産面をみると食生活の変化に対応できなかったこと、農業従事者の減少・高齢化、耕地面積の減少等が進行したことにより、国内生産が縮小している。一方、消費面についてみると2015（平成27）年は1965（昭和40）年頃に比べて供給熱量源として摂取した食品に変化がみられ、最も消費減となった品目は米であり、逆に消費増となったのは あ と い である。

この食生活の変化により栄養バランスの崩れが生じたとともに食料自給率の低下につながっていると考えられる。

自給率の高い 米 の消費減、自給率の低い あ と い の消費増

私たち人間は食物から栄養を摂取することにより、身体を構成し活動するエネルギーを得ている。栄養素と呼ばれているのは炭水化物・脂質・たんばく質・ビタミン・無機質の5つであり、このうち炭水化物・脂質・たんばく質は体内で、摂取1gあたり炭水化物は4kcal、脂質は9kcal、たんばく質は4kcalのエネルギーをつくりだす。これらの数値を用いて食品のエネルギーを簡単に求めることができる。例えば、ある食品に炭水化物が50g、脂質が10g、たんばく質が5g含まれているとすると

$$4 \times 50 + 9 \times 10 + 4 \times 5 = 310 \text{ (kcal)}$$

(炭水化物) (脂質) (たんばく質)

この計算式により310kcalがこの食品のエネルギー（熱量）となる。

たんばく質、脂質、炭水化物がそれぞれ食事全体のエネルギーに占める百分率を示したものをPFC比率といい、栄養バランスを判断する指標として考えられる。1980（昭和55）年頃には比較的適正な栄養バランスが実現されていたが、その後の日本のPFC比率をみると食生活が変化していることがわかる。

※ アルファベットは、各栄養素の英単語の頭文字をとっている。

P : Protein (たんばく質) F : Fat (脂質) C : Carbohydrate (炭水化物)

問1 資料1『総合食料自給率（供給熱量ベース）の品目ごとの変化』を見て あ い にあてはまる最も適切な品目を下の(1)～(8)の中からそれぞれ1つずつ選び番号で答えよ。ただし、同じものを2度用いてはならない。

(1)果実 (2)大豆 (3)野菜 (4)魚介類 (5)砂糖類 (6)小麦 (7)油脂類 (8)畜産物

問2 資料2『各国の国民1人・1日当たりの供給熱量及びPFC比率』の数値を用いて、か き く にあてはまる数値(%)を計算し、それぞれ小数第2位を四捨五入して小数第1位まで答えよ。

問3 日本の食生活の変化について、アメリカ・フランスと日本を比較し、資料1・資料2に触れて、200字以上250字以内で述べよ。

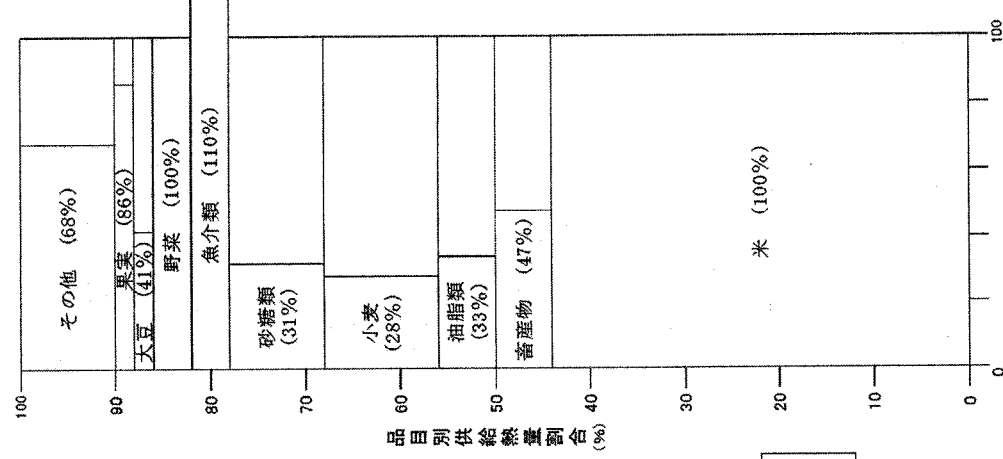
資料1

総合食料自給率(供給熱量ベース)の品目ごとの変化

1965(昭和40)年度

1人1日あたり総供給熱量:2459kcal

食料自給率:73%



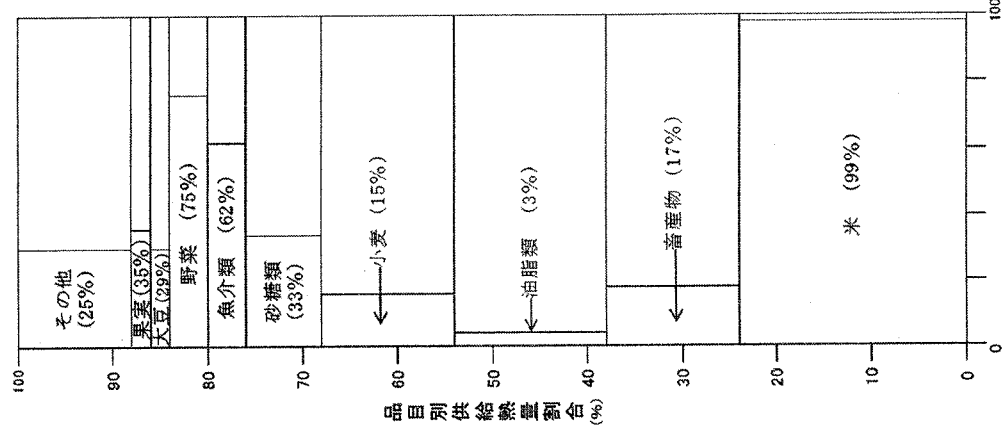
凡例

品目
(自給率%)

2015(平成27)年度

1人1日あたり総供給熱量:2417kcal

食料自給率:39%



農林水産省「平成28年度 食料・農業・農村白書」より作成

資料2

各国の国民1人・1日当たりの供給熱量及びPFC比率

国名	年	熱量		たんぱく質(P)		脂質(F)		炭水化物(C)	
		合計(kcal)	比率(%)	合計(g)	比率(%)	合計(g)	比率(%)		
アメリカ	2011	3468	12.3	107	41.8	161	45.9		
	2011	3335	13.0	108	43.7	162	43.3		
日本	1965	2459	12.2	75	16.1	44	71.7		
	1980	2562	か	83	き	73	<		
	2011	2436	13.0	79	28.4	77	58.6		
	2015	2417	12.9	78	29.4	79	57.7		

農林水産省「食料需給表」より作成

2 次の文章を読み、資料1から資料3を見て、以下の問いに答えよ。

資料1は素数を2から小さい順に21個取り出して並べたものである。資料2は音符を1個から5個並べたものである。これらを組み合わせた例が資料3である。

資料1

2	3	5	7	11	13	17
19	23	29	31	37	41	43
47	53	59	61	67	71	73

資料2

♪	♪♪	♪♪♪	♪♪♪♪	♪♪♪♪♪
---	----	-----	------	-------

資料3

(1 9 ♪♪♪♪ 1 9 ♪♪♪♪♪ 2 ♪ 3 1) … 黒板
(2 9 ♪ 5 ♪♪♪♪♪) … 窓

問1 資料1から資料3に基づき以下の読みをひらがなで書け。

(4 7 ♪♪ ♪♪♪ 5 3 ♪♪♪♪♪)

問2 問1のように数字と音符を読むのはなぜか。80文字以上100文字以内で説明せよ。

問3 以下の中からあなたの好きな教科を1つ選び、数字と音符を用いて書け。
なお、解答用紙に選んだ教科を○で囲め。

国語 理科 英語

